

# イチオシ!

## M O V I E

### 『ビラルの世界』

インド有数の大都市コルカタのスラム街。その一角にある小さな家で、盲目の両親、弟と暮らす3歳の男の子、ビラル。近所の子どもたちと路地を走り回ったり、水遊びをしたり、毎日たくさん笑って忙しい。その一方で、幼いながらも目の見えない両親を思いやって生きている。彼らの手を取って通りを渡ったり、うれしい時は抱きついて愛情表現をする。貧困をものともせず、明るく、そして力強く生き抜くビラルのありのままの日常を追ったドキュメンタリー作品。



© son et lumiere

2008年／インド／88分  
 監督：ソーラヴ・サーランギ  
 公開：10月6日(土)より、オーデイトリウム渋谷(東京)ほかにて全国順次公開  
 URL：ddcenter.org/bilal/  
 配給：ドキュメンタリー・ドリームセンター TEL：03-5362-0671

## E V E N T

### 『ワールド・コラボ・フェスタ2012』

中部地域最大の国際協カイベントが、今年も名古屋で開催される。JICAや国際機関、行政機関、NGO、企業など約100団体が参加し、それぞれの国際協力の活動を紹介。メインステージでは、名古屋おもてなし武将隊がNGOガールの悩みに答えるトークイベントをはじめ、JICA中部オフィシャルサポーターの空木マイカさんがファッションや音楽を通してアフリカの魅力を、原田さとみさんが9月に訪問したばかりのスリランカの内戦後の復興の姿を報告する。ぜひ足を運んで、国際協力の“今”を感じてみよう。

会期：10月27日(土)、28日(日)10時～18時  
 (「もちの木広場」会場は、両日とも10時～16時)  
 会場：オアシス21「銀河の広場」、久屋大通公園「もちの木広場」  
 URL：www.world-collabo.jp/  
 問：(公財)愛知県国際交流協会 TEL：052-961-8746

## B O O K

### 『アフリカに暮らして ガーナ、カメルーンの人と日常』

日本から遠く離れた大陸、アフリカ。なかなか身近に感じることはできないが、そこで暮らす人々は、一体どのような生活を送っているのだろうか。本書は、ガーナとカメルーンにゆかりのあるJICA職員や国際機関の職員、大学教授らが執筆したコラムを収録。現地の食文化、音楽事情から、奴隷貿易の歴史、近年の援助動向まで、幅広いテーマが語られている。その土地に長く滞在したからこそ見える人々の生活や彼らとの触れ合いなども魅力的だ。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

多摩アフリカセンター、少年ケニアの友東京支部 共編  
 春風社  
 1,680円(税込)

## B O O K

### 『アジアで働く 自分を活かす・キャリアが広がる』

近年、著しい経済成長を遂げるアジア。今後もさらなる市場の拡大が見込まれ、新たなビジネスチャンスにもあふれている。今こそ、インフラ建設や環境保全などの分野で、日本ならではの技術や強みを発揮する時。本書では、アジアを今もっとも面白い“職場”として紹介。長年この地域の経済を研究してきた著者が、アジア進出に不可欠な異文化交流の心得や、現地の言語・ビジネスマナーの体得のコツなどを解説。アジアへ、そして世界へ一歩踏み出すキャリアの選択肢を教えてくれる。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

九門崇 著  
 英治出版  
 1,470円(税込)